

# KiKiの広場

2014年 3月 1日

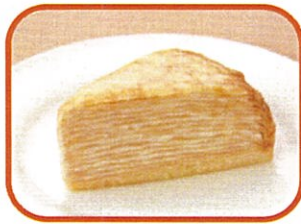
cafe NO.41  
KiKi



ソチオリンピック、終わりましたね。メダリストたちに限らずどの選手たちの活躍も素晴らしかったです。が、今回、困難に立ち向かう苦しさ素晴らしさ、そしてそれを見事に克服した時の感動は、順位など関係ないということを改めて教えられたように思います。2日間リアルタイムで正座して応援しましたが、どん底から這い上がりやりきった姿に、身体が震えるほど感動しました。心から感謝です。

## 3月の予定

休館日	11日(火)
定休日	毎日曜日



## 「今月のケーキ」・・・「ミルクレープ」 350円

1枚1枚丁寧に焼き上げたクレープ生地と、自家製カスタードクリームと北海道産生クリームを合わせたダブルクリームを15層に重ね、天面にナバージュを塗って仕上げた、定番人気のミルクレープです。

## 今月のお気に入り・・・「待ち遠しい春を感じたい・・・絵本」

～ 「はるになったら」「ながいながいよる」「おなべおなべにえたかな」「なののはなみつけた」「もいのてがみ」などなど ～



小さなお姉ちゃんが小さな弟のためにしてあげたいことが描かれている「はるになったら」。「しろいうさぎとくろいうさぎ」のガス・ウィリアムズの絵が、春の暖かくて優しい空気を運んでくるようです。ラストの、「いつか、あたしがおかあさんになったら、あかちゃんをだっこさせてあげる。こんなふう

に！」という言葉と、お姉ちゃんが弟をだっこしているシーンに、胸キュンです。「ながいながいよる」は、透き通るような冷え冷えとした冬の森、満月が照らす蒼の闇の美しさと、太陽を待ち望む動物たちの息づかいが聞こえてくるような迫力のある絵本です。



## 今月の本棚・・・「いろいろな生き方・・・の絵本」

～ 「フレデリック」「満月をまっけて」「からすたろう」「クーネリアス」「めうしのジャスミン」「100まいのきもの」などなど ～



「フレデリック」は、「ちょっとかわったのねずみのはなし」です。他ののねずみたちが冬を前に一生懸命食べ物を集めているのに、フレデリックだけはじっとしています。何もしてないようにみえましたが、実はフレデリックもいろいろなものを集めていました。さて、フレデリックが集めていたものとは？働くことも大事だけれども、自分の人生や周りの世界には、自分では気がつかなかった素敵なものがたくさんあるということに気づかせてくれる、そんな本です。「満月をまっけて」は、100年以上前、ニューヨーク州の山間の地方で、周囲の町の人に「山ザル」とさげすまれながらも、芸術品のようなすばらしいかごを作り続けた人たちの話です。今も博物館やアメリカの民芸品のコレクションの中にたくさん残っているそうです。周りを気にせず、風の声に耳を傾け、信念を持ってやり続けるって、すごいことだなと感じました。現役のまま83歳で亡くなったバーバラ・クーニー、最後の作品です。



## ほっとフレイク

ヒストリア字部のオープン当初からの仲間、受付の学生スタッフの青年2人が、この度めでたく就職が決まり、この地から巣立って行くことになりました。

大学の勉強や研究だけでなく、いいことも悪いことも含めてここでの経験が、きっと役に立つはず。これまでと、これからの、いろいろな出会いに感謝して、自分の人生が豊かなものになるように、頑張っ

てほしいなと思います。

心配り抜群の優しいMさん、真面目で笑顔が可愛い(失礼!(^.^)) Yさん、私たちも2人から学ぶことがたくさんありました。2人との出会いに感謝です。本当にありがとうございました。

お姉さん(?)たちもおばちゃんたちも、みんなで応援しています。ファイトー!!!!!!!!!!!!